

人間文化学部 生活デザイン学科

Department of LIVING DESIGN

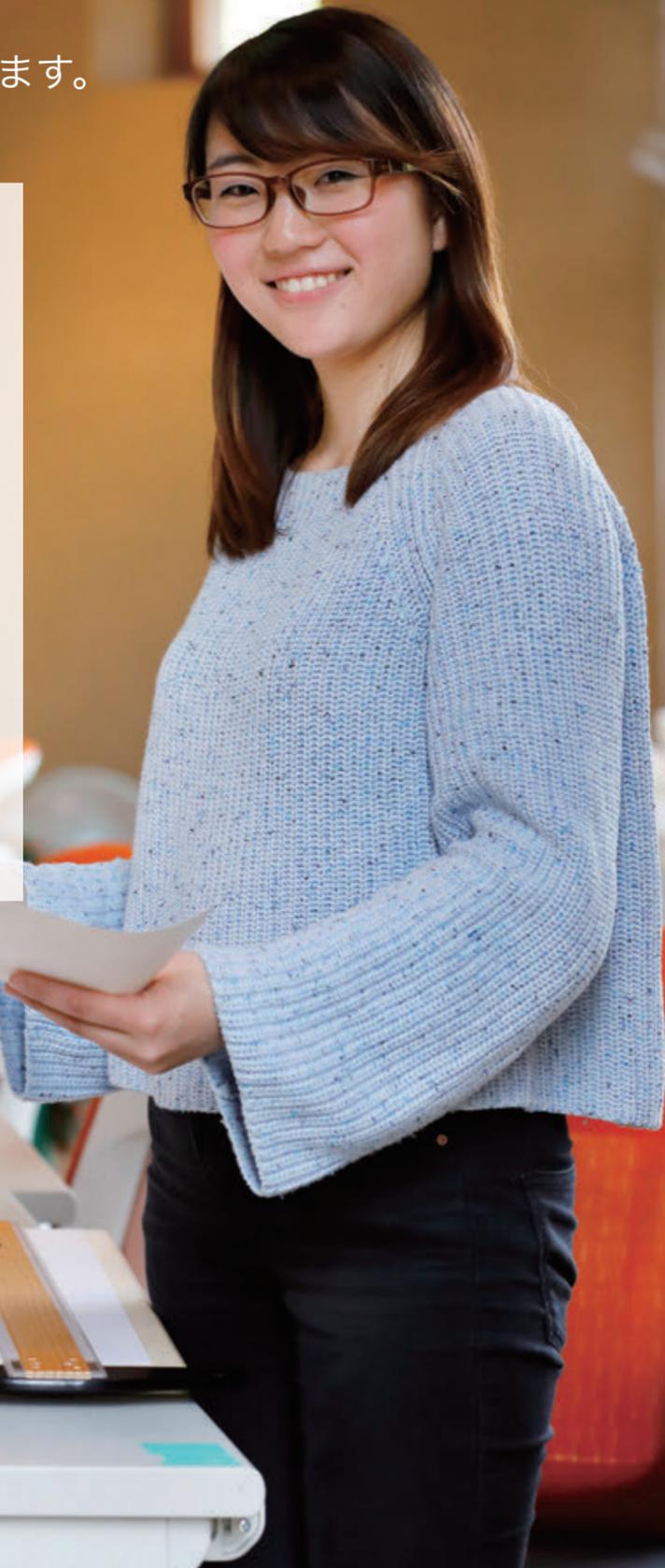
人間に最も身近な生活環境としての
住居・道具・服飾の
デザイン理論と実践を学びます。

目標は、人の感情を動かすデザイン。
私自身の好奇心を満たすすべてが
ここにあります。

「誰かの感情を動かすような“ものづくり”の道に進みたい」、漠然と考えていた私にとって、住居・道具・服飾の三分野にわたるデザインの基礎学習を経て、専門を決めることができるこの学科はとても魅力的でした。期待通りに興味は広がり、2年次には建物の内部空間について学びを進めました。住環境設計演習では、実際に図面を引いたり、模型を作ったり、建物の設計を経験。課外では、豊郷町に残された古民家を環境建築デザイン学科の学生と一緒に再生していく「とよさと快蔵プロジェクト」*に参加しています。伝統建築や地域の魅力と出会う一方、模型だけでは見えてこない大変さや、地域の現実的な問題に直面することも多く、自分で問題を発見して解決する力が身についたと考えています。これからは空間演出やまちづくりについて研究を進めるつもりです。記憶につながるような「心を動かすものづくり」をするために学ぶことは無限にあると思いますが、興味を持ってはいくらでも掘り下げることができ、すべてが自分の可能性につながる、それがこの大学の学びであると実感しています。

*滋賀県立大学が地域教育プログラムの一環として独自に展開する学生主体の地域貢献活動「近江楽座」のプロジェクトの一つ。

人間文化学部 生活デザイン学科3年生
萩原 咲楽さん/滋賀県立石山高等学校出身



◆アドミッションポリシー

生活デザイン学科では、人間に身近な生活環境の問題を発見し、その解決策を考え、社会に活躍できる人の育成を目指しています。この教育理念に沿って、人間に身近な生活環境としての住居、道具、服飾のデザインの理論と実践を学び、身近な生活環境を観察・分析して問題を発見し、その解決策を造形的・論理的に表現できる能力を身につけ、地域はもとより広く社会の発展に貢献できる人材の育成を、教育目標に掲げています。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

求める学生像

- ① 高度な専門的知識を身につけるための基礎学力を持っている人 (知識・理解)
- ② 柔軟かつ論理的に問題を解決する基礎力を持っている人 (思考力・判断力)
- ③ 身近な生活環境に対する関心と観察力を持っている人 (興味・関心、観察力)
- ④ 表現行為に興味を持ち主体的に創意工夫のできる人 (表現力)
- ⑤ 積極的行動力を身につけるための基礎力を持っている人 (行動力)

◆学びのポイント

変わり行く生活をよく見つけ、そこに望ましい生活環境を形づくってゆく行為が「生活デザイン」です。本学科では、生活の中での人間とモノとの関係に注目して、その現状を観察・記録する考現学的調査を推進し、それを基礎に、住居、道具、服飾のデザインを学び、新しい生活の創造をめざします。実際の勉強においては、生活に関わるさまざまなデザイン分野の専任教員から指導を受けながら学びます。さらに学外から招聘する専門家の指導を受ける機会もあります。講義科目に加え、各分野ごとの演習科目によって、自ら問題を発見し、解決策を考え、表現する力を養っていきます。卒業後は、生活デザイン分野の広がりを活かして、住宅・建設関係、印刷・広告関係、服飾関係、製造業、流通・小売業、サービス業、デザイナー、公務員、教員など、多様な進路があります。また資格として、教職、学芸員、二級建築士・木造建築士受験資格、インテリアプランナー受験資格などが取得できるほか、繊維製品品質管理士の資格を得るための道も開かれています。また、色彩能力検定、カラーコーディネーター検定などの受験も推奨しています。

Point 1

幅広く学べます

「地域」と「生活」の文化を研究する人間文化学部の中で、デザインを幅広く学べます。幅広い分野構成から自分の最も興味のある分野を見つけだし、専門的に学んでいくことができます。



Point 2

少人数で学べます

個別的・個人的に指導を受けやすい少人数の学科です。各分野ごとの実技科目は、学年が進むと10数名のクラスになり、これをときには複数の教員で指導します。3年生後期から卒業までは教員ひとりにつき最大6名程度のゼミナールに配属されます。

Point 3

フィールドワーク重視

学外の生活・生産のフィールド（現場）とのかかわりを重視し、さまざまな機会において、実地調査、学外見学、調査旅行などをおこない、企業や自治体のデザイン関連プロジェクトに積極的に参加します。



◆学びのステップ〈4年間の学習フロー〉



▲生活デザイン論演習

▲卒業研究審査会



生活デザイン学科 ってこんなところ

生活デザイン学科では、1年次は住居、道具、服飾3分野の基礎的なデザインについての授業を必修としており、その知識を活かして自分の興味のある分野の専門性を高めていきます。このように各分野のデザインについて幅広い視野を持つことができるのが本学科の特徴です。



人間文化学部
生活デザイン学科
印南 比呂志 教授



生活造形基礎演習
デザインや造形表現の基礎を学んでいます。

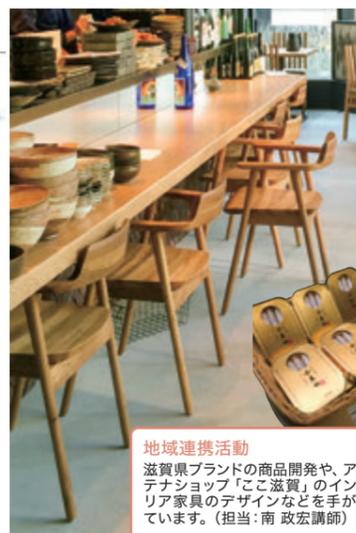


住環境設計演習
実際の空間生成体験から、住空間の設計やデザイン手法をより深く学んでいます。



LD賞(リビングデザイン賞)
毎年、優秀な卒業研究に対して賞を授与しています。

道具デザイン演習
日常で使われる道具に着目して、それぞれのデザイン開発手法を実践的に学んでいます。



地域連携活動
滋賀県ブランドの商品開発や、アンテナショップ「ここ滋賀」のインテリア家具のデザインなどを手がけています。(担当:南 政宏講師)



服飾デザイン演習
デザイン画の表現手法や、ボディ着装、縫製技術を学んでいます。

〈専門科目の例〉

講義

考現学概論
考古学者が発掘した遺構・遺物から過去の生活相を復元し想定するように、現在の生活を観測、観察、記録して、その生活相の変化を明らかにし、新しい生活をデザインするための立脚点とします。

住環境設計演習
住空間を中心に、その周辺空間も含めて調査・考察し、基礎的なインテリア空間から、公共・地域性をもつ建築・都市空間までを、様々な設計・表現手法を習得し、各自設計制作を行います。

生活造形基礎演習
デザインの基礎となる思考法・表現法と構成力等を演習を通じて学ぶことを目的としています。多くの素材をあらゆる視点で観察し、造形の発想とともに意識の拡大をテーマに取り上げながら立体造形に関する基本的な技法を習得します。

道具計画論
現代日本の生活実態の諸相の観察・分析から、今後どのような生活道具が必要とされるのか、どのようなデザインがなされるべきかを考えます。

服飾デザイン論
服飾に表される流行の特性、構成理論、体形との関係、素材や色彩の効果などを学び、服飾デザインの役割を論じます。そして服飾デザインにおける機能性や審美性について考えます。

デジタルデザイン演習
CADや画像処理、ドローイング、編集ソフトなどを用いて、DTPや3次元モデリングデザインやプレゼンテーションの基礎から応用までを学びます。

◆ようこそ研究室へ

道具デザイン領域

- OMOYA SHINSUKE
面矢 慎介 教授
道具学・デザイン史
考現学・生活学
- INNAMI HIROSHI
印南 比呂志 教授
地域デザイン・製品計画
工場産業論
- MINAMI MASAHIRO
南 政宏 講師
プロダクトデザイン・パッケージデザイン
ブランディングデザイン

住居デザイン領域

- MIYAMOTO MASAKO
宮本 雅子 教授
照明計画・色彩計画
住居学
- FUJIKI YOSUKE
藤木 庸介 准教授
建築計画・都市計画
文化遺産観光
- SASAKI KUNIHIRO
佐々木 一泰 講師
建築デザイン
インテリアデザイン

服飾デザイン領域

- MORISHITA AOI
森下 あおい 教授
服飾デザイン・被服構成学
被服人間工学
- YOKOTA NAOMI
横田 尚美 准教授
服飾文化史・西洋服装史
ファッション文化論

マーケティング領域

- YAMADA AYUMI
山田 歩 講師
マーケティング・マーケティングリサーチ
消費者行動

2017~2018年に学生が受賞したデザインコンペなど

- 第6回OAC学生アイデアで社会をよりよくするコンテスト 宣伝会議賞受賞
- 大学生のためのブランドデザインコンテスト「BranCol」2018 3位受賞
- 「チエコ 2017」みんなでシェアするエコアイデアコンテスト チエコ賞(最優秀賞)・会場審査特別賞・ミエコ賞・チカコ賞受賞
- KIPA第1回デザインコンペティション2017 佳作受賞
- 第9回ジャパンバードハウスコンテスト2017 優秀賞受賞
- 第4回石州和紙デザインコンペ 石州和紙技術者会長賞受賞
- JAGDA学生グランプリ2017 3作品入選
- 第10回中信学生デザインコンテスト 2作品努力賞受賞
- 第4回 繊維リサイクルアイデアコンペティション 最優秀賞・特別賞受賞
- DAS学生デザイン賞 第48回金の卵賞 入選
- デザイン女子No.1決定戦2017NAGOYA 特別賞受賞

◆進路状況抜粋(2016~2018年度卒業生)

- ◆就職先
(株)木の家専門店 谷口工務店
(株)アクタス
(株)azi-azi
(株)オカムラ
(株)カインズ
鹿島建設(株)
(株)鞆工房山本
(株)グッドキューブ
(株)ジャパンディスプレイ
昭和住宅(株)
住友三井オートサービス(株)
セントラルデザイン(株)
(株)タイコアーキテクト
(株)たねや
(株)包む
(株)ディーエイチシー
(株)ディッシュ
凸版印刷(株)
(株)トンボ
(株)日展
パナソニックサイクルテック(株)
(株)ファースト
(有)福田織物
PULL PUSH PRODUCTS.
(株)マナベインテリアハーツ
(株)レナウン
京都市

◆進学先

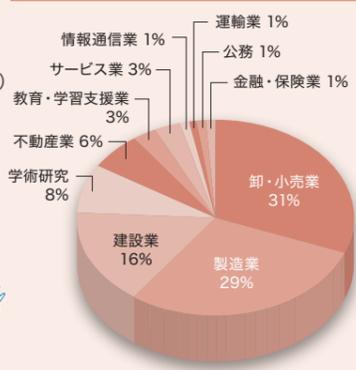
滋賀県立大学大学院



LD賞トロフィー



2016~2018年度卒業生の職種別就職状況



取得可能な資格一覧

- 教員免許: 中学校教諭一種(家庭) 高等学校教諭一種(家庭)
- 学芸員資格
- 二級建築士受験資格※2 ●木造建築士受験資格※2
- 社会福祉主任任用資格 ●インテリアプランナー登録資格

OB & OG Message

生活デザイン学科 2014年度卒業
勤務先: 株式会社ジュン
福井 あかりさん



勤務先である株式会社ジュンはアパレル事業からスタートしましたが、現在ではファッション・フード・フィットネスという3つのフィールドで、既存の枠にとらわれない事業展開を提案しています。私は現在、プレスプロモーション担当として、テレビやWEB、雑誌、新聞などのメディアを使った宣伝広告プランをはじめ、カタログの制作や展示会のイメージづくり、集客プロモーションの演出、進行管理に関わっています。大学で学んだイラストレーターとフォトショップの技術は、ホームページのパナーや店頭POPなどの制作面で活かされています。プレゼンの授業などで得た経験は、「人に伝える」ということを最も重要なミッションとする今の仕事に直結しています。そしてなにより、ものづくりやデザインの考え方、そのプロセスについて学べたことが大きな財産になっています。現役のデザイナーや、社会人経験のある先生方に教えていただいたことはとても貴重な経験になりました。将来は、お客様に伝わりやすく、ワクワクするようなプロモーションを考え、実現できる人材になりたいと考えています。(2019年1月現在)

※すべての資格は、大学が定める所定の科目を履修し、単位を修得する必要があります。 ※2 実務経験0~2年以上必要

CAMPUS LIFE ONE DAY 県大生の日

1日のスケジュール

- 8:30 通学
- 9:00 1限: デジタルデザイン演習
- 10:40 2限: 生活デザイン論演習
- 12:10 昼休み
- 13:10 3限: 道具デザイン演習
- 16:30 5限: 一般構造
- 18:00 課外活動

